

1. 「となりの生き物」の巻

今回の調査の「身近な生き物トップ10」を発表します。

地域でよく見かける生き物や、子どものときに遊び相手になってくれた

生き物たちは、どう変わってきたでしょうか。

昔と今では、ずいぶん顔ぶれが変わっています。付き合いかたも変わってきたのでしょうか。

身近な生き物・トップ 10

昔 50-60年前(昭和30-40年代)



① ホタル 47票



② ドジョウ 12票



③ タニシ 11票



④ カエル 9票



⑤ タナゴ 7票



⑤ ウナギ 7票



⑤ サワガニ 7票



⑥ レンゲ 6票



⑥ ウサギ 6票



⑦ タガメ 5票

今 ここ10年くらい



① ホタル 31票



② イノシシ 11票



③ ニホンジカ 9票



④ カモシカ 5票



⑤ ブラックバス 4票



⑤ タヌキ 4票



⑤ ハクビシン 4票



⑤ ニホンザル 4票



⑤ カエル 4票



⑤ アメリカザリガニ 4票

ホタルがトップ! 「ホタルがいっぱい」の表現は

今も昔もホタルが断然トップでした。ホタルとの付き合い、ホタルへの関心が今も昔も変わらず大きいことがわかりました。ただ、状況はずいぶん変わったようです。かつては、ホタルがいっぱいたのを「ホタルが乱舞」「ほうぎではたくほどいた」「家の中に飛び込んでくるほどいた」「周囲が明るくなるほどいた」「バスの窓から見えるほど川原を飛んでいた」と

多様な表現で報告がありました。今では「ホタルの保護活動でちょいちょい見られる程度」「ホタルが数えられるほどに減った」とちょっと寂しい報告でした。「地域ごとにホタルの復活がさかん」「田んぼの農業の減少で少しずつホタルが復活してきた」という少し明るい報告もありました。

「昔」のトップ5に入ったドジョウ、タニシ、ウナギ、サワガニの共通点は?

昔は、「稲刈りのあとはドジョウ捕りをした」「手づかみでウナギ、ナマズがとれた」「アユが多くいろいろの漁法で捕られていた。今はアユ釣りは行なわれているが、その他の漁法は見かけなくなった」「海岸でノウサギ狩りができた。ハマボウ

フウは地域の人の山菜だった」と、捕獲の対象だった生き物も多くいて、捕り方もいろいろだったようです。捕って、その後は・・・?(p.8の2をご覧ください)

けものたちが身近になった?!

イノシシやシカ、サル、タヌキなどの比較的大きな哺乳類が「今」のトップ10に6種も入りました。「イノシシやニホンジカが増え、農作物等への被害を及ぼすようになった」「多くのサ

ルが里山に出没、畑の作物を食い荒らしている」「スキー場をやめた今、カモシカが出てくるようになった」と、農業など人間の活動との関係が目立つようになってきました。

外来種も2種が「今」のトップ10入り

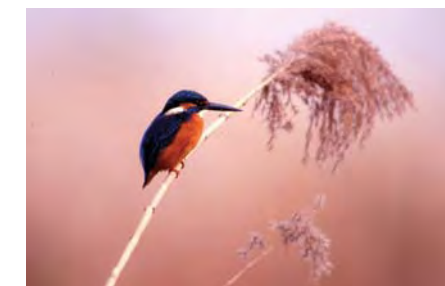
ブラックバス(オオクチバス)、アメリカザリガニといった外来種が各地で身近なところに生息している状況が報告されました。「かつては、近所の小川にアカザ(ナマズの仲間)が

いたが、それに変わって今はブラックバスが入ってきた」「カエルはウシガエルばかりになった」などです。

レンゲは思い出の風景に

植物で唯一トップ10入り(昔)したのはレンゲでした。しかし、今ではほとんど身近では見かけなくなっています。「春にはレンゲが一面に咲いていた」「田んぼや畔にはレンゲやタンポポが咲き乱れていた」「畔にはヒガンバナが咲いた」と、田畑の風景とともに報告されました。

ほかに、かつて身近だったのに今ではあまり見られなくなった生き物であげられたのは、植物ではレンゲに次いでヒシ、ヨシが多く、鳥では、キジ、カワセミ、フクロウ、魚介類ではフナ、メダカ、シジミ、ナマズなどでした。

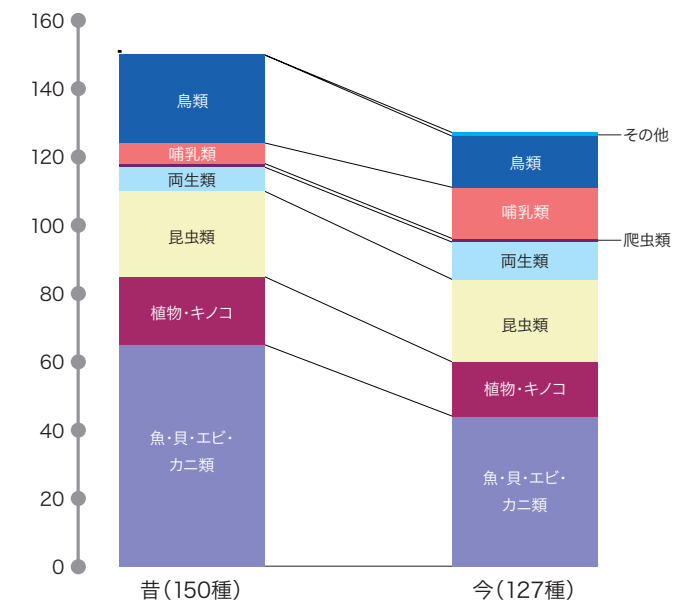


グループごとにみた身近な生き物の変化

生き物のグループごとに、今と昔の身近な生き物のようすを見てみると、魚・貝・エビ・カニの仲間が目立って減少していました。

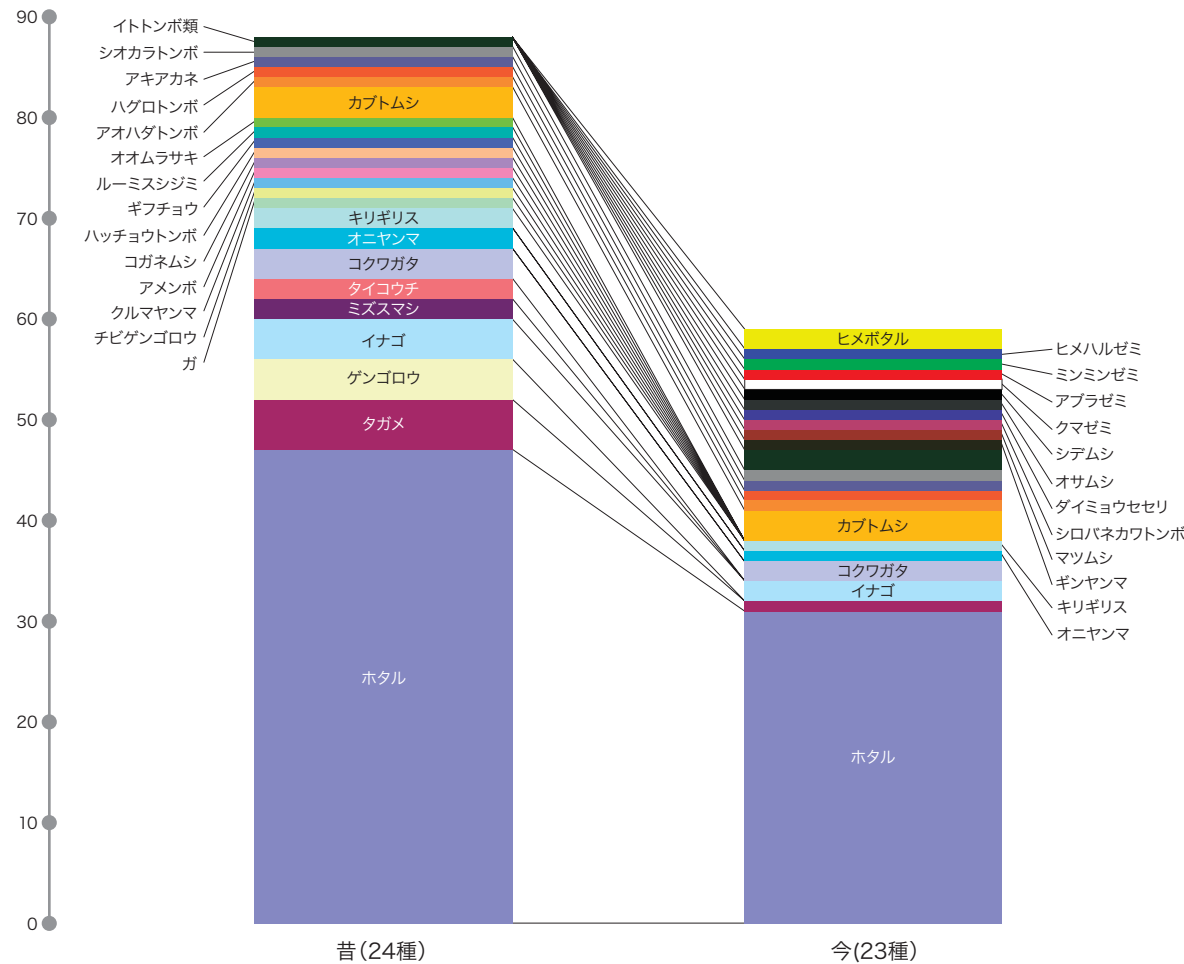
種数や報告数の変化が大きくないグループでも、詳しくみると種類が違うものに入れ替わっていました(p.7参照)。

◎身近な生き物の報告数

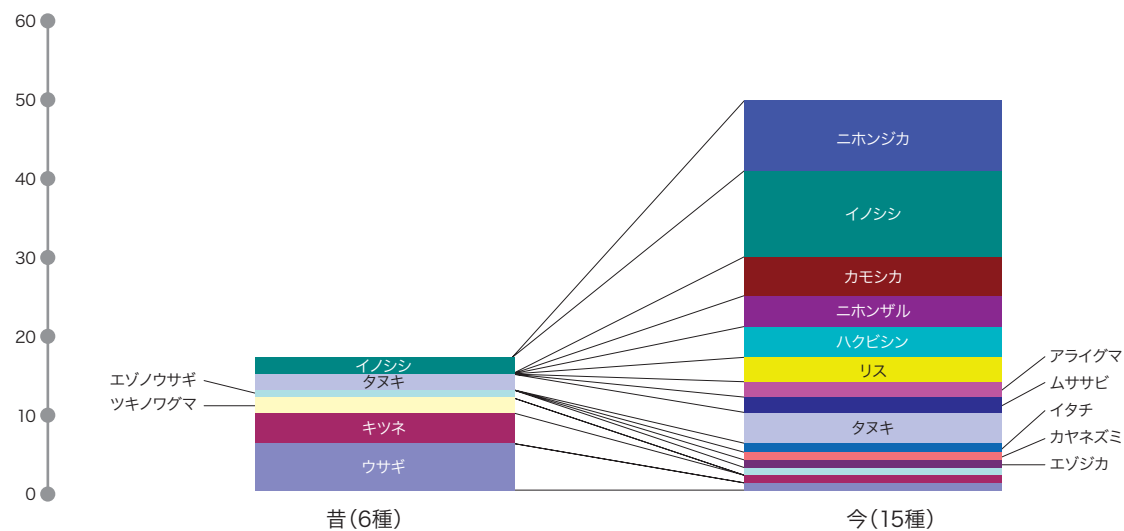


「身近な生き物」の報告数

①昆虫類



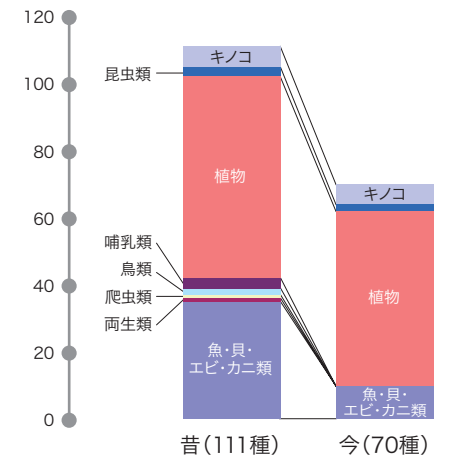
②哺乳類



※「植物」、「魚・貝・エビ・カニ類」、「両生類」、「鳥類」など、詳しくはwebサイトで公開していますので、合わせてご参照ください。

2. 「おやつやおかずになる生き物」の巻

かつては、周囲の自然の中からさまざまな生き物をとって、おやつや食事のおかずとして日常的に食べていたことがわかりました。中でも植物や魚・貝・エビ・カニ類がよく食べられていました。植物は、今でもよく食べられていますが、種類が大きく入れ替わっています。かつては、昆虫や両生類など今ではびっくりするような生き物も食べていたようです。



よく食べる生き物・トップ 5

(植物編)



山菜は今のほうが人気?!

かつてはクワが断然トップでしたが、今ではほとんどあがりませんでした。アケビやカキ、クリ、タケノコ、ヨモギは今も昔も比較的良好に食べられていました。

意外だったのは、ワラビ、タラ、セリ、フキ、ノビルなどの山菜は、今回の調査では「今」のほうがよくあがったことです。また、

クレソンは、「昔」はあがらなかったのに、「今」は5票を獲得し次点となりました。これらは、最近の山菜ブームやフレンチ、イタリアンといった洋食人気を反映した結果でしょうか。

人の暮らしの変化とともに、食べる対象となる生き物も変わってきています。

(魚・貝・エビ・カニ編)

